

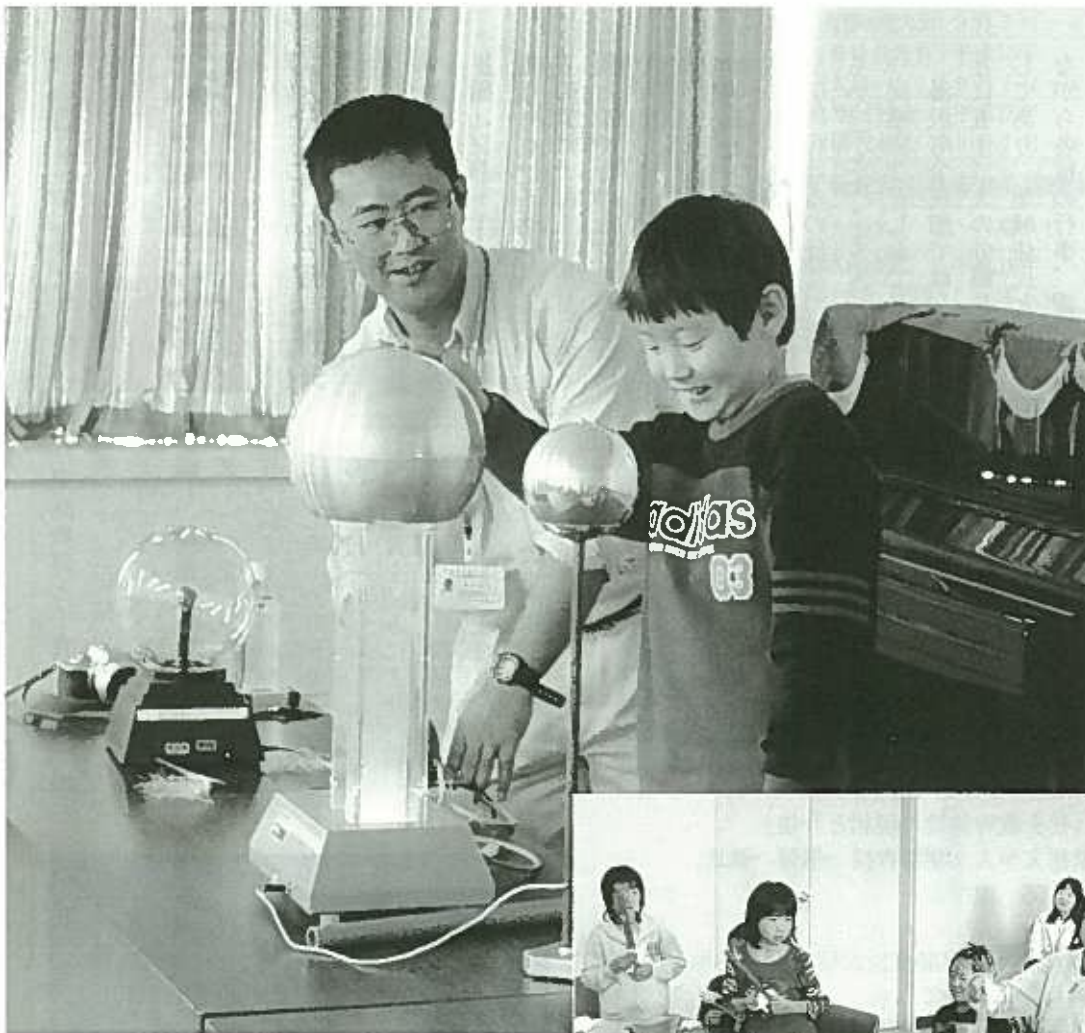
公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 人権尊重の町をめざして
4.5 第28回全国公民館研究集会 第6分科会発表1より

- 2** トピックス 第58回優良公民館表彰
- 3** 視点 中越地区公民館職員研修会で感じたこと
- 3** ひろば 心災
- 6** 実践記録シリーズ 「イベントボランティアスタッフ養成講座」～から「HN2」へ
- 7** サークル交流 舞踊・鼓乃会 (糸魚川市) / ちぎり絵サークル (荒川町)
- 7** 素顔拝見 吉田 正栄さん (小千谷市) / 八重樫由美子さん (寺泊町)



「ドキドキ静電気体験」

表紙解説 11月3日(木)、荒川町文化祭生涯学習振興
 コーナーで行われた「子ども科学実験教室」
 の模様です。



第58回優良公民館表彰

湯沢町公民館が受賞

「優良公民館表彰を受賞して」

湯沢町公民館長 上村 憲夫

湯沢町公民館にとって、今年のは秋は受賞が連続し、大変嬉しい年になりました。

まずは当町の宮田社会教育委員長が、十九年間の委員長としての実績と生涯学習活動の先駆的活動の功績により、「(社)全国社会教育委員連合表彰」を受賞しました。



小島敏男文科副大臣あいさつ
(12月2日までの任期)



本館職員一同

次に、健康・体力づくり運動の積極的な推進が評価され、「平成十七年度体力づくり国民会議議長賞」を受賞しました。この賞は社会体育部門と保健・栄養部門の両者の協力と事業内容が審査され、町村の部では全国八町村のひとつに選ばれました。

そして最後に、公民館活動の集大成とも言える「優良公民館 文部科学大臣表彰」を受賞することが出来ました。

表彰式は十月三十一日に霞ヶ関ビルで行われ、その後皇居で天皇、皇后両陛下の拝謁を許されました。同行者の一人が尋ねたところ、「文部科学省の敷ある表彰のなかでも、皇居に行けるのはこの表彰くらい。」とのこと、参列者一同感激ひとしおでした。

湯沢町公民館では、地区ごとに五十二人の分館長を配置してあり、地域住民と協議しながら各種の行事、講座等の企画運営をしています。実施をしている学級講座の合計は五十七講座で、開催回数は五百四十二回になります。そして特に力を入れているのが

「家庭教育と子育て支援」事業です。公民館が中心になり、子育て支援ネットワークを組織し、情報紙「子育てカレンダー」の発行をしたり、ひとりで悩まず親子が多くの仲間と話し合ったり出来る「子どもひろば」は大変好評です。この受賞を励みにより一層の研究鑽を約束し、関係の皆様への御礼といたします。



さわやか健康体験教室

第2回関ブロ公連理事会研修会開催

- 1 日時 平成17年11月22日(火) 11:00~16:00
- 2 会場 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟
参加数 30名



- 3 日程
 - ・ 11:00~11:10 開会・あいさつ
 - ・ 11:10~12:30 研修会
講演
テーマ 「社会教育施設の現状と今後」
講師 聖徳大学人文学部教授 福留 強氏
 - ・ 13:30~15:55 理事会
協議

- (1) 第46回関東甲信越静公民館研究大会(神奈川大会)の反省について
- (2) 第47回関東甲信越静公民館研究大会(群馬大会)について
- (3) 第30回全国公民館研究集会(栃木大会)について
- (4) 情報交換(各都県の実状)について
- ・ 15:55~16:00 閉会・あいさつ

視点

中越地区 公民館職員研修会で 感じたこと



中公連主事部会長
十日町市中央公民館副館長

齋木 文夫

今日の公民館を取り巻く二つの大きな流れがある。それは、市町村合併と行財政「改革」だ。これによって、公民館組織の再編成が起きている。市町村合併により、今までの中央館が地域館になり、職員も削減されたところがある。さらに、民間委託、指定管理者制度導入も再編成と言える。次に、公民館事業の見直し

が急務となっている。合併後、「隣の公民館は、自分たちと全然違うことをしていた」と気づく例は多い。全国一斉の、期限を切られての合併で、社会教育分野の調整はどこも不十分だったのだ。そこに、組織再編と予算削減がやってきた。どこも事業見直しに着手せざるを得ない。ただ、様々な公民館の姿が明らかになったこと、様々な考えを持った公民館職員が机を並べたことは、決してマイナスではない。私たちは、自ら学び合うことで公民館職員たることを証明するのだ。その道は平坦とは言えないが、参加者の意気を感じた一日だった。

H O T N E W S 掲 示 板

平成18年度 社会教育関係団体等大会予定
(17.11.8 現在)

◎公民館連絡協議会関係

大会名	期 日	会 場
全国公民館研究集会	平成18年 11月1日～2日	仙台市国際センター
関東甲信越静公民館研究大会	平成18年 8月24日～25日	群馬県前橋市市民文化会館
新潟県公民館大会	平成18年 7月21日	小千谷市市民会館
下越地区公民館関係役員等研修会	平成18年 9月29日	新潟市生涯学習センター

◎社会教育委員連絡協議会関係

大会名	期 日	会 場
全国社会教育研究大会	平成18年 10月19日～20日	富山市
関東甲信越静社会教育研究大会	平成18年 9月7日～8日	新潟市
新潟県社会教育研究大会	平成18年 9月7日～8日	新潟市
下越地区社会教育研究集会	平成18年 9月7日～8日	新潟市

◎社会教育主事等連絡協議会関係

大会名	期 日	会 場
下越地区社会教育主事等会総会・研修会	平成18年 未 定	3月に決定
下越地区社会教育主事等会研究集会	平成18年 未 定	3月に決定

心・災・ひろば

小千谷市公民館運営審議会議長 漆原 和彦

悪夢の十月二十三日から一年が過ぎ、少しずつではありますがありますが、平穏な日に戻りつつあります。だが、各地で地震の爪痕が今も多く残っています。

と少しでも地区の住民の心をいやすべく行事を計画し、町内にチラシを配布しても、とてもそんな気分になれない。物心ともに復興するには、長い時間と、「頑張りないう・諦めない・投げ出さない」で一歩前進、二歩後退で粘り強く。「今日はいいあんなばいだの」、「地震の時は皆にお世話になってそ」だすけえのう、わすれちゃならんの「……町内での会話です。

阪神大震災の時、経済は復興したが、地域のコミュニティは戻らなかつたと聞いている。小千谷だけにとどまらずこのような状況の中で、中越地区の人々の心をどのようにつなぎ止めてゆけばよいのか、公民館の活動もむつかしい時である。このような時こそ「〇月×日〇〇町〇〇〇の集い」



第28回全国公民館研究集会

第6分科会発表1より

	江戸時代	明治～戦前	戦後
社会制度	身分制社会	大日本 帝国憲法	日本国憲法
家族・個人 の関係	個人は「家」 に属する	「家」を継承 させる戸籍	基本的人権 を最優先

②名前の制度の変化

江戸時代 苗字は特権 妻は生家の姓を称する
 明治初年 国民全員が姓を持つ
 妻は生家の姓を称する
 明治民法 妻は婚姻により夫の家に入る
 戦後民法 夫婦は夫または妻の氏を称する

③おわりに 社会の基本単位は「個人」
 性別を超えた自立が大切

2 人権問題研究集会

実施日 平成16年11月6日(土)

対象 公民館利用者 人権教育推進員

参加者 約40名

テーマ 「他人事じゃない 気づき 考え 一歩
 前へ」

講師 彦根市人権教育推進協議会会長

講演の概要

- ①折り紙で箱づくり……基本がわかれば、見えること、気づくことがあり、柔らかな見方が出来るようになる。
- ②あなたのジェンダー度を出してみましょう。
- ③わかっているけど、できない。学習・研修で正しく知る。
- ④あなたの団体、地域で気になることはありませんか。
- ⑤人権文化を築こう。人権の輪を広げよう。

【IV 評価と今後の課題】

福寿大学での人権講座は、7講座のうちの一つに位置づけていたので、特別に勧誘しなくても参加者が多かった。また、博物館学芸員に、身近な家族の人間関係の基盤である夫や妻の人権について、歴史的に話していただいたので、説得力があり、よく聞いておられた。当然のことと思っている基本的人権が、多くの人々の努力で獲得されたものであることの理解が深まり、男女参画社会の重要さの認識が深まったと思われます。

人権問題研究集会に、サークル等の公民館利用者はかなり参加されたが、住民の自主的な参加は少なかった。講師は折り紙で箱を作る活動を入れて、基本的な理解の大切さと柔軟な見方の大切さを体感させたり、小グループの話し合い活動で気楽に話せる雰囲気を作ったり、と工夫されたので、充実した研修になりました。

公民館の講座や集会だけで、地域の人権意識が格段に向上するものではないので、今後とも学区人権教育推進協議会等と連携して、啓発活動を進めていきます。

この地域では、10年前に「健やか金城の会」を結成し、夏祭りを催したり、交通安全会議を立ち上げ、迷惑・違法駐車追放パトロールを実施し、大幅に駐車を減らしたりしています。今年は80名以上の「防犯見廻り隊」や「青色防犯パトロール隊」ができました。このような活動の根本には住民の人権を守り、人権を尊重しあう住みよい町を作ろうとする意識が強く働いていると感じます。公民館として、このような住民と共同して人権尊重の町づくりに努めていきたいと思えます。

特集

人権尊重の町をめざして

彦根市中地区公民館

館長 **田中 義宏**

【I はじめに】

彦根市は琵琶湖の東岸に位置し、緑豊かな鈴鹿山脈と琵琶湖の間の肥沃な穀倉地帯にあります。交通の要衝であり、戦国時代には戦略上の重要な地点として様々な有力者が支配し、江戸時代に井伊氏によって彦根城が築かれました。国宝の彦根城天守は白壁と様々な破風を組み合わせた美しい建造物です。城の周りには35万石の城下町が広がり、様々な伝統文化が引き継がれています。地場産業はバルブ、ファンデーション（縫製）、彦根仏壇が盛んで、電気、機械、ゴム等の大企業があります。

彦根市人口 109,951人（平成17年5月1日現在）

小学校 17校

地区公民館（中学校区ごと） 8館

中地区公民館の対象学区

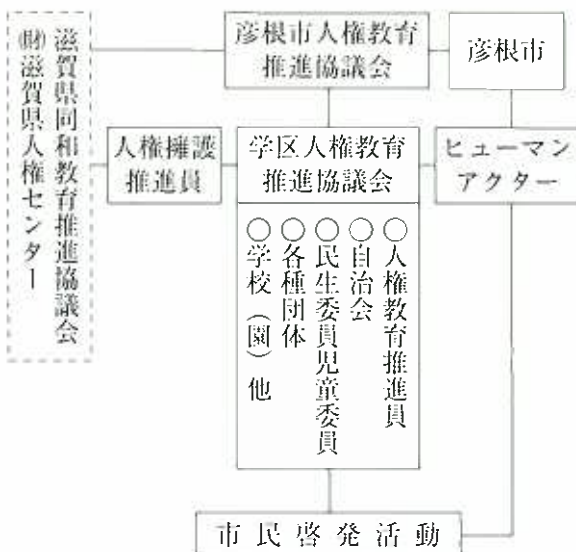
金城小学校区・平田小学校区

対象人口 17,790人（2005.4.30現在）

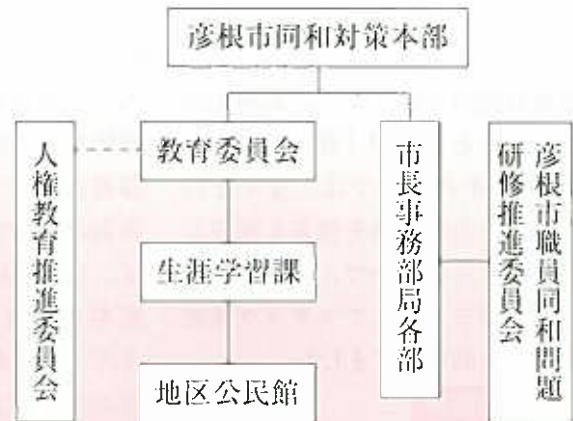
職員2名 館長（嘱託） 主事（正規職員）

【II 彦根市の人権啓発推進体制】

1 彦根市人権啓発推進体制図



2 彦根市における教育活動推進体制



3 彦根市の啓発活動の特色

- (1)同和教育推進協議会から人権教育推進協議会へ
- (2)ヒューマンアクター
- (3)人権問題通信講座
- (4)彦根市人権尊重都市宣言（昭和61年4月1日制定）
- (5)人権が尊重されるまち彦根をつくる条例（平成10年4月1日施行）

【III 中地区公民館の活動内容】

中地区公民館では、彦根市教育委員会の「人権教育の指針」に基づき、地域住民や公民館利用者を対象に人権尊重の町を目指して、次の人権啓発活動を実施しています。実施にあたっては、学区人権教育推進協議会と連携し、地域住民の主体的な参加になるよう努めています。

1 福寿大学における啓発活動

（高齢者対象の7講座の内の1講座）

実施日 平成16年6月12日 参加者 約80名

テーマ 昔の「家」と今の家族

講師 彦根城博物館学芸員

運営 主な老人会会長による運営委員会

講演の概要

- ①社会制度と家族のあり方の関係

実践記録

93

シリーズ

「イベントボランティアスタッフ養成講座」～から「HN2」へ

新潟市万代市民会館 主任 渡辺 保

1. はじめに

新潟市万代市民会館は、「児童センター」・「東新潟コミュニティセンター」・「男女共同参画推進センター」・「青年の家」からなる複合施設であります。私共が所管しているものが「青年の家」です。「青年の家」では、青年を対象とした主催事業を数多く開催しています。その中で、今回は「イベントボランティアスタッフ養成講座」を取り上げました。

2. 事業概要

対象者は、音響・舞台照明に興



味のある高校生・専門学校生とし、講師は外部から専門の方を招聘し開催しています。

第1日目

- ・舞台設営の基礎知識（機材の名称、操作方法）
- ・照明の基礎知識（機材の名称・操作方法）
- ・照明模擬実習（構想～照明図面～設営）

第2日目

- ・音響の基礎知識（機材の名称・操作方法）
- ・音響模擬実習（立案から設営、

ノイズ対策等）の内容で2日間に渡り実施し、年間2回（夏・冬）開催しており、イベントづくりの技術的なノウハウを基礎から学べる講習会となっています。ここでは、講座参加者自らが、ミキサーや調光操作卓を直接ふれることのできる大変貴重な場でもあります。

開会周知の方法として

- ①各高校、専門学校への「チラシ」の送付
- ②「市報にいがた」での広報
- ③会館内でのチラシの配架

3. 事業展開

この講座の修了生を中心に、ライブの企画、音響や照明の勉強を続けている「HN2」という団体が組織されています。

「HN2」とは、高校生ネットワークin新潟の略称です。

会館で夏と冬計2回開催される「高校生ライブ」を担当し、自分達で何カ月も前から打合せを実施し、企画、立案、チラ



シ作成、広報、舞台設営、音響・照明の仕込み、リハーサル等全員が協力して「ライブ」を成功させようと行動的に活動している団体です。

4. 今後の課題

講座を開催しても、参加者が年々少なくなっていくのが現状であり、そのため必然的に「HN2」加入者も少ない。しかしながら、他ではあまり行っていない貴重な講座でもあり、今後は、あらゆる機会を通じてPRに努め、参加者の増加につながるよう、事業を展開していきたいと思ひます。



名引公民館 公民館サークル活動
舞踊・鼓乃会

初めにサークルの紹介をいたします。大正琴・カラオケ・民踊・舞踊と公民館を活用しております。名引公民館の催しとして観桜会・名引祭り・旧町としてのイベントも沢山あります。一人暮らしは食会慰問・ふくがくちの里・能生早川とお声がかればとんで行き、公民館での活動を披露し喜んでいただいております。

日々の公民館での活動がいろんな形で役に立ち、これからもサークル活動を広げたいと思います。また舞台上が



るたびに緊張し、これが気持ちのいい緊張となり、公民館での活動に力が入りサークル活動と交流の場を広げ、近隣の輪を広げ、より良い公民館活動サークルと、これから先も公民館をおおいに利用したいと思います。

糸魚川市 舞踊 鼓乃会
酒井 信子 記



指先を使って楽しく老化防止

ちぎり絵サークル

ちぎり絵サークルは、現在のメンバーは十二名ですが、会員がそろって活動できることはなかなかできません。それでも来られる人だけ来て自



由に活動できるのが良いところです。

ちぎり絵は、色とりどりの数種の和紙をちぎりながら花や風景等の作品を作ります。和紙は、指先の使い方や色々な使い方ができます。薄い和紙は、重ねることによって思いがけない色合いになり、作品に深みが出ます。

作品はまだ未熟な私たちですが、指先を使うことで脳の老化防止にもよいと期待しながら、これからも和紙あいたいと思っております。

荒川町・ちぎり絵サークル
代表 吉成 禮子 記

「おはようございます。寺泊町教育委員会、八重樫です。」運が良ければ、電話口で彼女の明るい、澄んだ声を聞くことができる。

採用後7年、公民館職員兼務、ベテランの域に達しつつある彼女、地域のことを知り尽くし、きめ細かな配慮をしながらイベントなどの企画運営に当たるので、地域の評判は上々、「八重樫さんの言うことなら」と、多少の無理も聞いてもらえる。

寺泊町教育委員会社会教育係
主事 八重樫由美子さん



八重樫主事の専門は考古学。町の歴史民俗資料館担当。日夜を問わず資料の整理に没頭したり、町内にある遺跡発掘の責任者として泥だらけで奮闘している姿に、頭の下がる思いがする。

道産子の彼女、越後人にはない新しい感覚で地域の発展に寄与してほしい。

(寺泊町公民館 小林忠夫 記)

昨年、社会教育課(公民館)に配属され、主に青少年教育を担当し大いに張り切っていました。ところが、大震災で市民会館のほか20を超える管理施設が被災し、その復旧工事にも追われることになり、まさに獅子奮迅の活躍といったところ。実は彼の家も被災し、最近新築移転を済ませたばかり。

震災直後は、最大1000人を越す避難所で「寮長」と呼ばれ、避難者の信頼を集めていました。

小千谷市公民館

主査 吉田 正栄さん



そして今、災害復旧体制で大幅減員の中で、4人の美女助っ人を的確にアドバイスしながら沉着冷静に仕事をこなす彼は、これからの公民館事業でも大輪の華を咲かせることと思います。

(小千谷市公民館 副参事 中村一吉 記)

素顔
顔
拝見

前号に引き続き「ふるさと関屋」(下)について紹介させていただきます。

内容構成は、第六章 関屋堀割と関屋分水、七章 関屋の産業、八章 関屋の都市化、九章 学校と文化、関屋は学校の町、十章 関屋の生活と習慣から構成されており、興味深く読ませていただいた



また関屋の農業・漁業です。名産関屋カボ

のは、関屋分水開削への経緯です。原点は、信濃川下流域の地形と水害、そして関屋堀割の掘削です。原型が未だ残っているのが驚きです。

恵贈資料紹介

ふるさと関屋(下)

新潟市関屋地区公民館
ふるさと関屋案研究会

チャヤのこと、春イワシ、秋鮭のことなど、懐しく想起されます。古老からの聞き書き等、会員の方々の努力がにじむ冊子でもあります。

問合せ 連絡先
新潟市関屋地区公民館
電話 (FAX)
〇二五―二六六―四九三九

Net work ネットワーク

「平成17年度中越地区公民館長・主事・公運審等研修会」開催

- 趣旨 (省略)
- 主題 「今、公民館ができること～少子高齢化のなかで～」
- 主催 中越地区公民館連絡協議会
- 共催 新潟県公民館連合会、柏崎市教育委員会、刈羽村教員委員会
- 主管 柏崎公民館、刈羽村公民館
- 期日 平成17年11月17日(木)
- 会場 柏崎市市民プラザ
- 日程
 - 〇開会 13:00
 - 主催者挨拶 中越地区公民館連絡協議会会長 吉岡 潤一 様
 - 来賓挨拶 中越教育事務所社会教育課長 小林 民弥 様
 - 新潟県公民館連合会副会長 星野 正行 様
 - 歓迎挨拶 柏崎市教育長 小林 和徳 様
 - 〇講演 13:15～14:45
 - 演題 「家族の絆～今、家庭教育に求められるもの～」
 - 講師 新潟日報編集局報道第二部長兼編集委員 高橋正秀 様
 - 〇事例発表 15:00～16:00
 - 1. 刈羽村公民館の取り組み 刈羽村公民館主事 太田 寛 様
 - 2. 少子高齢化の中での旧高柳公民館の取り組み 柏崎市公民館主任 春日 一浩 様
 - 3. 北鯖石コミュニティ活動「和・喜・愛・逢」号ただ今運転中 柏崎市北鯖石コミュニティセンター主事 間島みよ子 様
 - 〇閉会 16:00
 - 閉会挨拶 刈羽村教育長 小林忠博 様



参加者 201名

event information

平成18年1月の催物ご案内

あ と が き

第56回新潟県公民館大会の記録報告集が、現地事務局のご協力により、11月末刊行することができました。

また、大会運営費の方も、実行委員会のご尽力により、何とか黒字決算が見込めうで喜んでおります。それでは、皆様方、良い年をお迎えください。

(鈴木 記)

特別企画展

錯覚展

心の動きにせまる不思議な世界

主催 新潟県立自然科学館
2008年 12月3日(土)～12月25日(日)

平成18年1月の催物ご案内

1月18日(日) 10:00～16:00開演 (途中休止12:00～13:00)

19日(月・祝) 9:00～11:00開演

新潟県立自然科学館 観覧料無料